

新規・拡充事業一覧

※主な新規・拡充項目については、主なものであるため、事業費総額と合計が合わないことがあります。

部名称	課名称	事業名称	事業費総額		主な新規・拡充項目	主な新規・拡充項目				頁
			令和8年度 要求額 (千円)	令和8年度 最終査定額 (千円)		令和8年度 要求額 (千円)	令和8年度 最終査定額 (千円)	査定内容	査定の詳細	
総務部 警防部	総務課 警防課 通信指令課	消防活動事業	255,045		緊急自動車運転シミュレーター	9,201				1

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	新規・拡充
	事務事業名		事業番号		事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	消防	局	総務・警防	部	総務・警防・通信指令	課

I. 基本情報

事業の位置付け						
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤～Resilience～	施策 (1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上 ①危機対応力の強化
		寄与 する KPI	有・無	指標名		—
		無	現状値		—	目標値
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール⑪住み続けられるまちづくりを	ターゲット 11.5,11.b
		寄与 する KPI	有	取組	「自助」「共助」「公助」の役割分担に基づく災害対策の推進	—
		無	現状値		—	目標値
						—
2	関連計画					
3	事業開始年度			昭和 45 年度	点検対象年度	令和 8 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			堺市警防規程、堺市消防職員宿舎規程、堺市消防協力事業所登録要綱、大阪航空消防運営費の分担に関する要綱		
事業の概要						
5	事業の実施主体			本庁・出先機関		
6	事業の対象			堺市消防職員 災害発生時に消防体制の確立を実施するための管内の事業所	対象数 約1,000 約24,000	単位 人 事業所
7	事業の目的			災害発生時、消防体制を早期に確立及び大規模災害発生時における「共助」による消防活動に対する支援体制の確立		
8	事業内容			【大規模災害時に対する防災対策事業の推進】 多種多様な災害現場に対応するため、各種訓練を実施することで、災害発生時における対応能力を向上させる。 また、管内事業所に対して、消防協力事業所認定制度への登録を依頼し、登録事業所の個々の知識及び技能を強化するための研修・訓練を実施する。 【消防局長等官舎借上】 災害発生時、指揮命令系統の早期確立のため、官舎借上を実施している。 【その他】 消防体制を維持するため、航空隊を府内市町村と共同運航しており、その消防運営費を負担し事務遂行している。 また、消防通信にかかる通信費及び訓練環境の確保のため、施設、資器材等の維持管理を実施している。 加えて、災害現場へ安全かつ確実に到着し円滑な活動を行うため、緊急自動車の運行における事故防止対策として、緊急自動車運転シミュレーターを導入する。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先			大阪市消防局		
10	公民連携・協働事業					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	災害対応能力の向上	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度
		目標値	-	-	-	-
		実績値	-	-	-	-
	当該指標を選定した理由			達成率	-	-
12	大規模災害想定した他市との合同訓練の実施	目標値の設定根拠・算出方法		実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度
		目標値	5	5	5	
		実績値	6	6		
	当該指標を選定した理由	達成率	120%	120%		
	目標値の設定根拠・算出方法					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	消防活動事業	事業番号	090-015
-------	--------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
財 源 内 訳	事業費 (a)	201,514	314,906	257,804	276,496	255,045
	国支出金			4,939		4,600
	府支出金	45,998	84,419	72,809	47,638	52,474
	市債					4,400
	その他（消防事務受託費負担金等）	26,676	45,970	28,931	30,502	31,281
	受益者負担金（使用料、手数料等）					
	一般財源	128,840	184,517	151,125	198,356	162,290

事業費の内訳

(単位：千円)

14	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	0	0		R7	予算	3,151	3,151
事業 費 内 訳	報償費	R8	予算	156	156	使用料及び賃借料	R8	予算	3,221	3,221
		R7	予算	135,325	69,823		R7	予算	874	874
	需用費	R8	予算	131,632	62,151		R8	予算	404	404
		R7	予算	58,940	58,940		R7	予算	10,567	10,567
	役務費	R8	予算	65,071	65,071		R8	予算	15,546	11,146
		R7	予算	0	0	原材料費	R7	予算	26,342	13,704
緊急自動車運転シミュレーター 制作業務委託料【新規】	R8	予算	9,201	4,601	R8	予算	29,494	15,220		
	委託料（上記以外）	R7	予算	41,297	41,297	R7	予算			
		R8	予算	320	320	R8	予算			

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	R7年度は前年度と同回数の訓練を行うことができた。
	R8	R8年度も同回数以上の訓練が予定されている。 緊急自動車の事故防止対策として、緊急自動車運転シミュレーターを製作する。
	R9以降	R9年度に全国訓練が予定されているので、回数が増加する見込みである。 緊急自動車の事故防止対策として、緊急自動車運転シミュレーターを導入した研修・訓練を実施する。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	多種多様な災害現場に対応するために必要な資器材の購入予算等を要求する。 加えて、災害現場へ安全かつ確実に到着し円滑な活動を行うため、緊急自動車の運行における事故防止対策として、緊急自動車運転シミュレーターを導入する。
----	---------	---

緊急自動車の事故防止対策について

1 事業概要

消防の任務は消防組織法により、その施設及び人員を活用して、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、及びこれらの災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行うことと任務としている。

消防は迅速に災害現場で活動するため、緊急自動車による緊急走行で災害現場まで移動することが必須である。

平常時、車両特性等を熟知した機関員が、訓練等を実施したうえで車両運行しているが、緊急走行は実災害時のみ運行することから、実際の道路環境下で練習することが不可能であった。緊急自動車による安全適格な走行のうえ、迅速な現場到着と現場活動を実現するため、事故防止対策として緊急自動車運転シミュレーターを導入するもの。

2 緊急自動車運転シミュレーター

堺区の消防署を拠点とし、4.5分圏域で走行できる距離（約3km）の範囲において災害現場を立ち上げ、緊急走行のシミュレーションができるシミュレーターを製作する。



3D都市モデル（PLATEAU事業）地図（イメージ）

3 令和8年度予算

- ・3D都市マッピングを活用し、シミュレーター製作 9,201千円
- ※都市空間情報デジタル基盤構築支援事業に基づき1/2は国庫補助

4 想定スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
発注準備期間	→ マップ制作期間 →									シミュレーター制作期間	→